

1. 事業の位置付け

事務事業名	国際交流活動推進事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'03	③〈交流〉 ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	'02	2 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	姉妹都市市民・外国籍市民・留学生・市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 市民・外国籍市民】		
目的・目標		事業の概要	
姉妹都市市民・外国籍市民・留学生・市民などが、交流会などを通じて、活発な交流を行っています。		異文化理解により自国の文化を高めるため、市民主体の様々な交流事業を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交流会等開催回数				単位	回
	説明・算定式	交流会開催、ホームステイ受入れ等回数					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	4	4	4	4		
	実績	4	4	4	2		
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	交流会等参加者数				単位	人
	説明・算定式	交流会参加者、ホームステイ受入れ人数等					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	200	200	200	200		
	実績	210	246	221	112		
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	国際化の進展に伴い、市民の国際理解と国際感覚の醸成のニーズが高まっており、異文化に身近にふれることができる当該事業の必要性は高いです。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	多くの市民が参加し、異文化理解を深めるためにも、情報提供を幅広く行い、継続的に事業を行うことが必要です。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	国際化の進展に伴い、異文化理解を深めるためにも、多くの市民が手軽に参加することができる事業展開を行っているため、事業実施については妥当であります。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市はサポート的なことを行い、事業は市民及び市民ボランティアにより実施しています。	● 高 ○ 中 ○ 低	

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額
事業内容		各種交流会の開催やホームステイの実施など	各種交流会の開催やホームステイの実施など	各種交流会の開催やホームステイの実施など	各種交流会の開催やホームステイ、20周年記念事業の実施等
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	1,240	1,240	1,150	1,977
事業費 (A)		1,240	1,240	1,150	1,977
執行率 (%)		100.00	100.00	92.74	95.50
内訳	職員 (人)	0.20	0.35	0.55	0.55
	再任用 (人)	0.40	0.00	0.35	0.35
人件費 (B)		3,050	2,937	5,804	5,736
フルコスト (A+B)		4,290	4,177	6,954	7,713

## 4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分	平成22年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①: 予定どおり -	①: 予定どおり -	①: 予定どおり -	③: 遅れている 交流会等の開催減に伴う、参加人員の減少。
	主な取組と成果	留学生や姉妹都市からの青少年派遣団などのホームステイの受入れや市民交流会の開催を行い、異文化理解を深めた。	留学生や姉妹都市からの青少年派遣団などのホームステイの受入れや市民交流会の開催を行い、異文化理解が深められました。	留学生や姉妹都市からの青少年派遣団などのホームステイの受入れや市民交流会の開催を行い、異文化理解が深められました。	留学生や姉妹都市からの青少年派遣団などのホームステイの受入れや市民交流会の開催を行い、異文化理解が深められました。
検証結果		A: 成果があがった	A: 成果があがった	A: 成果があがった	C: 十分に成果をあげることができなかった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開	平成24年度への展開
今後に向けた課題		国際交流事業により多くの市民が参加してもらえるようにその機会や事業実施について工夫し、幅広く情報提供を行う必要がある。また、姉妹都市についても交流会や紹介展などを通じ更に市民にPRを行っていく必要がある。	国際交流事業により多くの市民が参加してもらえるようにその機会や事業実施について工夫し、幅広く情報提供を行う必要がある。また、姉妹都市についても交流会や紹介展などを通じ更に市民にPRを行っていく必要があります。	国際交流事業により多くの市民が参加してもらえるようにその機会や事業実施について工夫し、幅広く情報提供を行う必要がある。また、姉妹都市についても交流会や紹介展などを通じ更に市民にPRを行っていく必要があります。	国際交流事業により多くの市民が参加してもらえるようにその機会や事業実施について工夫し、幅広く情報提供を行う必要がある。また、姉妹都市についても交流会や紹介展などを通じ更に市民にPRを行っていく必要があります。

1. 事業の位置付け

事務事業名	外国籍市民交流推進事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'03	③〈交流〉 ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	'02	2 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民・外国籍市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 市民・外国籍市民】		
目的・目標		事業の概要	
市民と外国籍市民とが様々な交流を通じて相互に理解し合い、多文化共生の社会が形成されています。		異文化への理解を深めるため、国際交流イベントをはじめ、語学教室や国際理解講座などを開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	日本語講座等語学教室開催回数				単位	回
	説明・算定式	日本語講座、語学講座、日本語ボランティア養成講座等各種語学教室の開催回数					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	698	510	510	510		
	実績	661	534	562	573		
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	日本語講座等語学教室受講者数				単位	人
	説明・算定式	各語学講座等の受講者数					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	154	210	210	210		
	実績	246	273	432	234		
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民の国際理解、異文化理解を進めるとともに外国籍市民が暮らしやすくするための支援事業は、多文化共生社会の発展を図るうえからも必要性は高いです。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	多文化共生社会の発展を図るためには、継続的に事業を行うことが必要です。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	より多くの市民参加や外国籍市民への情報提供のあり方等の検討も必要です。	○ 高 ● 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市はコーディネートを担当し、事業活動については、市民及び外国籍市民との協働により進めています。	● 高 ○ 中 ○ 低	

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額
事業内容		国際交流イベント、講座、教室などの開催	国際交流イベント、講座、教室などの開催	国際交流イベント、講座、教室などの開催	国際交流イベント、講座、教室等の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	1,930	1,930	1,770	1,355
事業費 (A)		1,930	1,930	1,770	1,355
執行率 (%)		126.14	126.14	115.69	100.00
内訳	職員 (人)	0.10	0.60	0.35	0.35
	再任用 (人)	0.50	0.00	0.35	0.35
人件費 (B)		2,554	5,035	4,133	4,084
フルコスト (A+B)		4,484	6,965	5,903	5,439

## 4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分	平成22年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①:予定どおり	①:予定どおり	①:予定どおり	①:予定どおり
	遅れている理由	-	-	-	-
主な取組と成果		平塚市国際交流協会へ委託し、市民レベルの国際交流事業や外国籍市民が暮らしやすくするために日本語教室・日本語養成講座などを実施し、多文化共生社会の進展に成果が得られた。また、国連協会平塚支部が実施する「国際理解・国際協力のためのポスター・作文コンテスト」を助成し、市民の国際理解、異文化理解の推進に成果が得られた。	平塚市国際交流協会へ委託し、市民レベルの国際交流事業や外国籍市民が暮らしやすくするために日本語教室・日本語ボランティアブラッシュアップ講座などを実施し、多文化共生社会の進展に成果が得られました。また、国連協会平塚支部が実施する「国際理解・国際協力のためのポスター・作文コンテスト」を助成し、市民の国際理解、異文化理解の推進に成果が得られました。	平塚市国際交流協会へ委託し、市民レベルの国際交流事業や外国籍市民が暮らしやすくするために日本語教室・日本語ボランティア養成講座などを実施し、多文化共生社会の進展に成果が得られました。また、国連協会平塚支部が実施する「国際理解・国際協力のためのポスター・作文コンテスト」を助成し、市民の国際理解、異文化理解の推進に成果が得られました。	平塚市国際交流協会へ委託し、市民レベルの国際交流事業や外国籍市民が暮らしやすくするために日本語教室・日本語ボランティア養成講座などを実施し、多文化共生社会の進展に成果が得られました。また、国連協会平塚支部が実施する「国際理解・国際協力のためのポスター・作文コンテスト」を助成し、市民の国際理解、異文化理解の推進に成果が得られました。
検証結果		A:成果があがった	A:成果があがった	A:成果があがった	A:成果があがった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開	平成24年度への展開
今後に向けた課題		外国籍市民との交流事業により多くの市民、外国籍市民に参加してもらえるように工夫し、事業の定着及び安定化を目指します。	外国籍市民との交流事業により多くの市民、外国籍市民に参加してもらえるように工夫し、事業の定着及び安定化を目指します。	外国籍市民との交流事業により多くの市民、外国籍市民に参加してもらえるように工夫し、事業の定着及び安定化を目指します。	外国籍市民との交流事業により多くの市民、外国籍市民に参加してもらえるように工夫し、事業の定着及び安定化を目指します。

1. 事業の位置付け

事務事業名	友好都市交流推進事業		
事業担当	市民部 文化・交流課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'03	③〈交流〉 ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	'02	2 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民・企業	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 市民・企業】		
	目的・目標		事業の概要
高山市、花巻市、伊豆市と平塚市の市民や企業との交流が活発に行われています。		文化やスポーツ、産業を発展させるため、友好都市など幅広い交流を行います。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交流事業実施回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	15	15	15	13		
	実績	16	13	15	13		
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	交流事業参加者数				単位	人
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	320	320	340	320		
	実績	376	312	354	228		
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	産業、文化、スポーツなどを通じて交流することは、相互の産業発展や文化の醸成につながり、必要性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	都市間交流を継続することは、豊かな人間性をはぐくむうえで有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低	
妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	実施事業によっては、受益者負担の見直しも検討する必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	既存事業について、より効率的な交流内容や経費の見直しを検討する必要があるとともに、市民に参加してもらえる新規事業を企画する必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額
事業内容		市民ツアー、キャンプ、 物産展などの開催	市民ツアー、キャンプ、 物産展などの開催	市民ツアー、キャンプ、 物産展などの開催	市民ツアー、キャンプ、 物産展などの開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	3,388	3,433	2,893	1,858
事業費 (A)		3,388	3,433	2,893	1,858
執行率 (%)		92.97	94.21	79.39	76.58
内訳	職員 (人)	1.20	0.85	0.85	0.85
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.25	0.25
人件費 (B)		10,070	7,133	7,966	7,873
フルコスト (A+B)		13,458	10,566	10,859	9,731

## 4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分	平成22年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①:予定どおり -	②:若干遅れている 隔年2事業が開催年ではありませんでした。	①:予定どおり -	①:予定どおり -
	主な取組と成果	友好都市及び市民休養の郷と市民交流、市民ツアー交流、スポーツ交流、小学生交流等の事業を行い、友好交流を図ることができた。	友好都市及び市民休養の郷と市民交流、市民ツアー交流、スポーツ交流、小学生交流等の事業を行い、友好交流を図ることができました。	友好都市及び市民休養の郷と市民交流、市民ツアー交流、スポーツ交流、小学生交流等の事業を行い、友好交流を図ることができました。	友好都市及び市民休養の郷と市民交流、市民ツアー交流、スポーツ交流、小学生交流等の事業を行い、友好交流を図ることができました。
検証結果		A:成果があがった 平成21年度への展開	A:成果があがった 平成22年度への展開	A:成果があがった 平成23年度への展開	B:おおむね成果があがった 平成24年度への展開
今後に向けた課題		より多くの市民に参加してもらえる既存事業の見直し及び新規事業の検討並びに市民休養の郷の在り方を検討していく必要がある。	より多くの市民に参加してもらえる既存事業の見直し及び新規事業の検討並びに市民休養の郷の在り方を検討していく必要があります。	より多くの市民に参加してもらえる既存事業の見直し及び新規事業の検討並びに市民休養の郷の在り方を検討していく必要があります。	より多くの市民に参加してもらえる既存事業の見直し及び新規事業の検討並びに市民休養の郷の在り方を検討していく必要があります。



1. 事業の位置付け

事務事業名	青少年国際交流事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'03	③〈交流〉 ひと・文化の活発な交流が広がる環境をつくる	
	'02	2 地域の文化をお互いに理解し、活発な交流を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市内在住の中学生、高校生	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】 【協働： 国際交流協会、派遣団OB・OG】		
目的・目標		事業の概要	
姉妹都市との交流を通じ、両市の青少年が相互理解を深め、両市青少年及び参加青少年同士が活発な交流活動を展開しています。		青少年育成及び青少年活動の促進のため、姉妹都市ローレンス市との青少年交流の機会を提供し、両市における相互理解と国際親善を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交流会開催回数				単位	回
	説明・算定式	派遣団修了者で構成される青少年団体が、自発的に企画・実行又は参加したイベントなどの回数					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	4	4	4	4		
	実績	4	4	4	4		
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	青少年団体加入率				単位	%
	説明・算定式	派遣団修了者で構成される青少年団体へ加入した派遣青少年の割合					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標	100	100	100	100		
	実績	100	100	100	100		
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
	目標						
	実績						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	派遣については毎年募集人数を上回る応募があり、外国青少年の受入れについても、市民及び市民団体、学校などから積極的な交流要望があるほか、姉妹都市提携の面からも市の関与が不可欠であり、必要性があります。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業継続による派遣団修了者の増加や、受入れ時における各種交流機会の提供は、青少年指導者層の拡大や青少年活動の活性化に効果があり、青少年健全育成を実現する方法として有効です。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	近年では気軽に海外旅行ができ、また民間の企画でホームステイも体験できますが、本事業では実施後も青少年相互交流が図られ、青少年指導者育成も実現されていること等から、市が実施する妥当性があります。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	派遣については、他事業に比べ一人当りの育成にかかるコストパフォーマンスが悪く、また、必ずしも参加者全員が派遣後の青少年交流や活動に携わってこないなどの課題があります。	○ 高 ● 中 ○ 低	

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額
事業内容		交流会の開催	交流会の開催	交流会の開催	交流会の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	402	466	0	314
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	1,800	1,800	1,800	1,800
	一般財源	5,254	5,295	4,583	5,207
事業費 (A)		7,456	7,561	6,383	7,321
執行率 (%)		93.23	94.55	79.82	97.62
内訳	職員 (人)	0.85	0.85	0.80	0.95
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		7,133	7,133	6,685	7,847
フルコスト (A+B)		14,589	14,694	13,068	15,168

## 4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分	平成22年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①:予定どおり	①:予定どおり	①:予定どおり	①:予定どおり
		-	-	-	-
主な取組と成果		ローレンス市訪問団の受入により、市民団体・青少年団体・学校などを介した活発な市民交流が展開され、また、ローレンス市へ本市青少年を派遣したことで、国際感覚を有する青少年の育成と青少年活動が活性化され、ひと・文化の活発な交流が広がる環境づくりに寄与できた。	ローレンス市青少年訪問団の受入れにより、市民団体・青少年団体・学校との活発な市民交流が展開されました。また、ローレンス市へ本市青少年を派遣したことで、自ら進んで国際交流できる青少年の育成と青少年活動の活性化が実現され、ひと・文化の活発な交流が広がる環境づくりに寄与できました。	ローレンス市青少年訪問団の受入れにより、市民団体・青少年団体・学校との活発な市民交流が展開されました。また、ローレンス市へ本市青少年を派遣したことで、自ら進んで国際交流できる青少年の育成と青少年活動の活性化が実現され、ひと・文化の活発な交流が広がる環境づくりに寄与できました。	ローレンス市青少年訪問団の受入れにより、市民団体・青少年団体・学校との活発な市民交流が展開されました。また、ローレンス市へ本市青少年を派遣したことで、自ら進んで国際交流できる青少年の育成と青少年活動の活性化が実現され、ひと・文化の活発な交流が広がる環境づくりに寄与できました。
検証結果		A:成果があがった	A:成果があがった	A:成果があがった	A:成果があがった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開	平成24年度への展開
今後に向けた課題		海外派遣の目的に、指導者的役割が果たせる青少年の育成や青少年活動の活性化があるが、派遣団修了者で構成された青少年団体の活動は最近やや停滞気味にある。一人でも多くの修了者に派遣後も継続して青少年活動に取り組んでもらえるよう、一層の活動の場を提供するとともに、青少年リーダーとしての活躍できる環境の整備や仕組みづくりが求められる。	海外派遣の目的として指導的役割が果たせる青少年の育成や青少年活動の活性化があるため、一人でも多くの修了者に継続して青少年活動に取り組んでもらえるよう一層の活動の場を提供するとともに、青少年リーダーとして活躍できる環境の整備や仕組みづくりが求められます。	海外派遣の目的として指導的役割が果たせる青少年の育成や青少年活動の活性化があるため、一人でも多くの修了者に継続して青少年活動に取り組んでもらえるよう一層の活動の場を提供するとともに、青少年リーダーとして活躍できる環境の整備や仕組みづくりが求められます。	海外派遣の目的として指導的役割が果たせる青少年の育成や青少年活動の活性化があるため、一人でも多くの修了者に継続して青少年活動に取り組んでもらえるよう一層の活動の場を提供するとともに、青少年リーダーとして活躍できる環境の整備や仕組みづくりが求められます。